

令和3年6月7日

大阪府知事 吉村 洋文 様

一般社団法人全国美術館会議
会長 建 畠 哲



美術館の公開に向けてのお願い

知事におかれましては、常日頃実施されている、大阪府民の皆様の文化意識を高め感性を豊かにする積極的な施策に深く敬意を表します。

私ども、一般社団法人全国美術館会議は、国公立私立の美術館 401 館が集まる国内で唯一の美術館組織です。美術館は例外なく、多種多様な展覧会、作品資料の収集、社会教育活動を展開して、地域の人々に美術鑑賞と理解の機会を提供し、豊かな生活の糧になるよう、工夫と努力を重ねております。

しかし、現在のコロナ禍のもとで、緊急事態宣言、まん延防止等特別措置が出されている地域では、国、自治体、日博協のガイドラインに沿った感染防止対策を遵守しながらも、要請に従って展覧会や各種イベントを中止し休館している美術館が多くあります。

一方で、なかには劇場などのように、一定の制限のもとで公演を再開し、人々が芸術のもつ本来の力に直接触れる機会を少しずつ回復している分野もあります。それと併行して美術館も活動を再開する方向が萌し始める情勢が見られます。コロナ禍のもと、何よりも生命を守ることを最優先にするのは言うまでもありません。そのための方策を十全に施しながら、人々が安心安全のうちに、美術館で実際の作品に触れる喜びと慰安を得ることもまた、日々の生活の中で極めて大事であると認識されます。美術館本来の社会的役割を果たすことは、コロナ禍の困難な状況の中でなお必要とされるものであり、困難な状況だからこそ、生活に潤いをもたらす道を探らなければならないと考えます。

美術館は他の博物館施設と同様に、利用者と職員に対する感染防止、安全確保を最優先にした運営を続けており、クラスター等の感染拡大に悪影響を及ぼす事例は発生しておりません。この困難な状況に屈せず、精神に活力を導き、コロナ後の未来への希望をもたらすために、多くの人が美術の力を感じ取れるよう美術館は強く願ってやみません。

多くの医療従事者の方々が心身を削りながら懸命の努力をなされ、新型コロナの危機に立ち向かっていることを思えば、現在の状況の少しでも早い改善が優先事項であるのは、美術館もよく弁えております。その事情を深く心に留めつつ、なお多くの人々に少しでも安らぎの糧を提供することが、美術館博物館施設に課せられた社会的な使命であると心得ます。

要請に従って休館を決断した美術館のなかには、収入の減少に苦境に陥っている館も少なくありません。この苦しい事情もご理解いただき、日時指定の予約制、滞留者数の制限、開館時間の工夫（曜日による休館ではなく時間延長等による入場者の拡散）などの措置を取りつつ、社会にとって重要な美術館の役割が少しでも円滑に果たせ、人々が美術館を楽しめる条件づくりにご配慮いただけるよう、衷心よりお願い申し上げます。